

青少年のための科学の祭典 2013 亀山大会

11月2日(土曜日)、三重県亀山市の亀山市青少年研修センターで「青少年のための科学の祭典 2013 亀山大会」が開催され、当署からは「木を使おう」をテーマに木工工作ブースを出展しました。

「青少年のための科学の祭典」は、平成4年度から全国各地で開催されており、三重県でも平成11年度から開催され、亀山市では平成16年11月に初めて開催されて以来、毎年開催されてきました。この企画には、こどもたちに科学の不思議さやおもしろさを体験してほしいとの願いが込められています。

当日は、地域の学校や企業などから25のブースが出展され、物理・化学・生物・環境などをテーマとした科学の楽しさを体験できる実験・展示・工作などが行われました。

当署のブースでは、木や自然の素材を使うことを通じて、森林のはたらきや森林づくりについて関心を持ってもらおうと、間伐材を輪切りにした円板と、クロマツやクヌギ、コナラなど様々な木の実を準備しました。

訪れたこどもたちは、これらの材料を組み合わせるオリジナルの作品を仕上げていました。



材料の木の实を選びます



グルーガンを使って接着します



円板にどんぐりやまつぼっくりで飾り付けをします



キーホルダーやリース、動物の置物などをつくりました